

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	02	0403	健康づくり推進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-6 健康づくりの推進				
	施策	1 健康づくりの支援				
目的	健康づくり計画や事業の円滑な推進を図るため、関係団体と連携して、健康づくり推進協議会の開催、保健推進事業、献血推進の各事業を行う。					
対象	市民、保健推進委員、健康づくり推進協議会委員、献血推進協議会					
意図	健康づくり計画や事業の円滑な推進を図る。保健推進委員の活動を活発にする。献血事業を推進する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<p>◆健康づくり推進協議会：委員とともに協議することにより、事業展開に市民の意見を反映できる。平成27年度は、平成28年度のプランの中間見直しに向けた協議のため2回開催とする。</p> <p>◆保健推進事業：保健推進委員に対し、各種研修会を行うことにより、健康づくりの牽引役である保健推進委員自らの「健康づくり意識」が向上し、地域の意識啓発につながる。</p> <p>◆安定した医療確保に向けた血液供給を目的とする献血事業の遂行のため、献血推進協議会に補助する。</p>						
市民参画の有無 [ ]						
市民協働の形態		共催	<input type="radio"/> 実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛	<input type="radio"/> 補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	保健推進委員の事業協力回数	回	計画	380	362	
			実績	362	333	
②	献血実施日数	日	計画	64	64	
			実績	67	68	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	保健推進事業への協力者数	人	目標	1,850	1,756	
			実績	1,756	1,413	
②	献血本数(200ml換算)	本	目標	4,928	5,088	
			実績	4,558	4,291	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
合併から10年を経て、事業を見直し、より効果的な事業展開としたことから、保健推進委員の協力回数が減少した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	健康づくりの推進を目指した事業であり、市が市民の健康づくり意識の向上のために実施することは妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	研修会や資料の吟味・工夫により、効果的な意識向上につながる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	健康づくり推進協議会委員は、市の審議会ガイドラインに定める委員報酬と同額。保健推進委員報酬は、平成18年合併時協議により統一化。献血推進事業補助金は、平成26年度に削減。事業費のほとんどが人件費及び補助金であり、削減の余地はない。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	健康づくり推進協議会・保健推進事業は、市全体の健康づくりの推進、献血推進は、安定した医療確保といずれも市民全体を対象としており適正である。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
<p>◆健康づくり推進協議会：各団体の代表者からの有識者の意見と、市民代表の双方からの意見を反映させる場として有効である。</p> <p>◆保健推進事業：自らの健康づくり意識を向上させ、地域の意識向上に繋げていくという効果波及は、健康づくりの牽引役という目的を果たしている。</p> <p>◆献血推進事業：恒常的な血液供給により安定した医療確保に繋げるという目的を果たしている。</p>		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	02	0403	健康づくり推進事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		3,671	4,765		1,094
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,671	4,765		1,094

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部経営方針における目標

健康づくり計画や事業の円滑な推進を図るため、健康づくり支援と地域医療を充実し健康づくりを推進します。

事業開始の背景・経緯

- ◆健康づくり推進協議会：健康はなまき21プランの策定と事業推進の協議を目的に平成14年から設置。
- ◆保健推進委員：昭和48年頃から各市町で設置、2年毎に区長推薦者に市長が委嘱。
- ◆献血推進協議会：献血思想の普及に努め、献血事業の推進を図ることを目的に昭和48年から設置。

事業概要

- ◆健康づくり推進協議会：委員とともに協議することにより、事業展開に市民の意見を反映できる。平成27年度は、平成28年度のプランの中間見直しに向けた協議のため2回開催とする。
- ◆保健推進事業：保健推進委員に対し、各種研修会を行うことにより、健康づくりの牽引役である保健推進委員自らの「健康づくり意識」が向上し、地域の意識啓発につなげる。
- ◆安定した医療確保に向けた血液供給を目的とする献血事業の遂行のため、献血推進協議会に補助する。

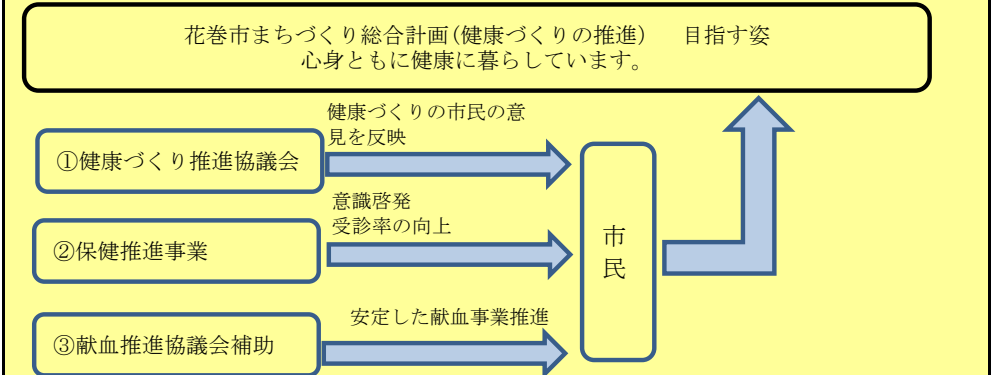
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

各事業の推進にあたり、効率化・効果的な実施を図るため、協議のうえ進めている。特に、保健推進事業については、保健推進委員の健康づくり意識の向上により市全体の意識向上に繋がるよう、精査に努める必要がある。

担当部署 部名 健康福祉部 課名 健康づくり課 担当係長 久保田和子 内線 390

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



1 健康づくり推進協議会関係 H27 147千円 (前年比 +86)

関係機関、各団体の代表者及び一般公募の委員の参加のもと、健康づくり事業及び健康はなまき21プランの進捗状況等に協議を実施。  
\*健康づくり推進協議会委員 20名

2 健康はなまき21プラン中間評価関係 H27 929千円 (前年比 +929)

平成28年度の中間評価に向けたアンケート調査、集計、分析を実施。  
\*健康はなまき21プラン H24~H33

3 保健推進事業関係 H27 3,039千円 (前年比 +79)

区長(全行政区)からの推薦者に対し、保健推進委員を委嘱【任期2年(平成26~27年度)】。各種研修会の開催 等。  
\*保健推進委員 382名

4 献血推進協議会補助金 H27 650千円 (前年度比 ±0)

献血思想の普及に努めるとともに献血事業の推進を図る。